

ぴょんちゃん だより NO.7



令和6年 10月31日(木)
認定こども園 鳥取第四幼稚園
うさぎ組担任 山崎かおり



肌に触れる風もだんだん冷たくなり、子ども達からも「風、寒いね～」という言葉が聞かれ、晩秋の気配が感じられるようになりました。本格的に寒い冬が訪れる前に戸外遊びを十分に楽しみたい！と外に出かける機会を多くもつようにしています。中庭では砂遊びよりもアンパンマンの固定遊具や他の滑り台などが人気となってきています。少し高い所に登ったり、自分で「よし！いくぞ！」と覚悟して滑ったりなど、ちょっとしたスリルや出来た時の嬉しさを味わえることが魅力なのかもしれませんね。もうしばらく戸外で、走る、くぐる、登る、下りる、ぶら下がるなど色々な運動を楽しんでいきたいと考えていますので、体調面等で戸外遊びを控えた方がよい時はお知らせください。



じぶんで！

最近、色々な場面で「じぶんで！！」と言ったり、保育教諭の手を払い除けたりする姿が見られるようになりました。そんな時の子どもたちの表情は「自分はなんでもできるんだ！」という自信に満ちています。その反面うまくいかないことも多く、イライラしたり泣いて怒ってみたりもするので、私たち大人も子ども達のやりたい気持ちを全て受け入れる余裕がない時や、どのように対応したらよいか分からない時は心が焦ったりします。そこで、活動の前後にできるだけ時間に余裕をもつように心がけ、どうしても納得いくまでさせてあげられなかった時には、気持ちが落ち着いた後で「さっきはがんばってたね うまくできていたよ」としていたことを認めてギョッとさせてあげようと思います。「自分でやるやる期」＝「学びの時期」共に大切にしていきたいと思います。



好きな遊びをじっくりと楽しもう



日々、子どもたちが好きな玩具や、興味をもっている遊びは何だろう？と観察したり、連絡帳などを通じて子どもたちの家庭での情報を得たりしながら、園でも楽しめるようにしています。最近では乗り物や恐竜などに興味をもっていたり、手先を使った遊びをじっくりと行ったりする姿をピックアップし、手作り玩具や遊びの環境を作りました。

先日は、久しぶりに色々なぽとん落としを用意し、以前よりも落とす穴を小さく、入れる物も細いストローやビニール縄跳びを切った物など目新しい物を準備したところ、夢中で遊び、給食の時間になって「ごはんたべるよ」と呼び掛けても遊んでいる手を止めようとしていない子どもたちもたくさんいました。「もっと遊びたい」という子どもたちの姿が見られることが何よりうれしい保育教諭です。こちらは(↓)は子どもたちが好きな遊びをじっくり楽しんでいる写真です。



お知らせとお願い

- ★午睡時、使用しているタオルケット、またはバスタオルをブランケットなどに変えて頂きますようお願いいたします。かけ布団などは収納時にかさばるためお控えください。
- ★寒くなってくるとついつい厚着にさせてしまいがちですが、厚着をさせたり、暖房を効かせすぎたりすると、子どもが自分で体温を調整して外気温に適應する力が弱くなると言われています。また肌着も吸水性、速乾性のある物で、厚手の物は暑くなった時に脱ぎにくいので、寒さが厳しい所へ行くような時以外は薄手がおすすめです。
- ★食事の時に使用しているエプロンやおしぼりの名前を確認して頂き、消えかけている場合にも分かりやすく記名をお願いいたします。また毎日使用し、湿った状態でビニールに入れているのでカビが生えたりすることがありますので、今一度ご確認いただきますようお願いいたします。

